

評価シート 様式

取組名	日本の古都奈良が発信する「なら国際映画祭」にともなう国際観光・地域産業の活性化と人材育成		
実施団体名	特定非営利活動法人 なら国際映画祭実行委員会	対象地域	特定非営利活動法人 なら国際映画祭実行委員会
(代表団体名)		推薦団体名	奈良県・奈良市

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	日本の古都奈良が発信する「なら国際映画祭」にともなう国際観光・地域産業の活性化と人材育成		
実施団体名	特定非営利活動法人 なら国際映画祭実行委員会	対象地域	特定非営利活動法人 なら国際映画祭実行委員会
(代表団体名)		推薦団体名	奈良県・奈良市

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	○先導性・モデル性 地元の歴史・文化資源を全面に打ち出した映画づくりを地元出身の文化人と地元住民・企業が一体となって取組、その中で地域資源の見直しや外とのつながりを持って地元を活性化できる人材の育成を図る点で先導性・モデル性があるといえる。
	○相乗効果・波及効果 地域で開催したプレイベントでは、地元の奈良餅を活用したPRグッズを試作。また、イベント時にフリーマーケットが開催されるなど、具体的な相乗効果・波及効果が現れはじめている。
	○ 評価 <input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。 (評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本取組は、地元出身の映画監督が提唱者となって、地域資源と文化資源の情報発信を全面に打ち出した映画祭作りを地元と一体となって進めていくという点で地域活性化に寄与する取組であると評価でき、地域産品の活用、映画祭準備を通じたまちづくり人材の育成と住民のまちづくりの意識向上に重点を置き、経済的自律性と両立を図ることなどに留意しつつ地方の元気再生事業を継続することにより本格展開に向けて継続的な展開が期待できるものである。
	次年度以降の取組については、映画祭開催そのものに関する部分については、提案者独自の活動として推進しつつ、本事業については、地域住民の地域の歴史・文化資源の見直しや地域産業との連携による地域活性化にかかる活動に重点を置くべきであると考えます。 具体的には、①経済環境の急激な変化等をふまえた映画祭そのものの体制見直しと合わせ、地域住民等が奈良の地域資源をより効果的に認識し、まちづくり活動の活性化につながる形での、支援組織の強化活動に注力すべきである。②国内外への情報発信については、奈良の地域産業のブランド強化や奈良で活動する地場産業従事者、クリエイターなどの活動範囲が拡大する形での取組を実施すべきである。③映画祭の内容構築については、地域の人材育成に資する活動に厳選すべきであり、本事業として取り組む活動については、大幅な見直しが必要と考えられる。